

4
2010 APRIL

第515号
平成22年(2010年)

かごしま 市民の ひろば

主な内容

- 特集**
平成22年度当初予算..... 8・9
- 市政総合..... 2~4
 - イベント・講座..... 5~7
 - 暮らしのガイド..... 10~12
 - 健康・福祉..... 12・13
 - すこやか鹿児島っ子..... 14・15

編集と発行
鹿児島市広報課
〒892-8677 鹿児島市山下町11番1号
TEL.099-224-1111(市役所代表)
TEL.099-216-1133(広報課直通)
FAX.099-216-1134
Eメール
kouhou4@city.kagoshima.lg.jp
ホームページ(携帯版同じ)
http://www.city.kagoshima.lg.jp

市の人口(推計)		
平成22年3月1日現在(前月比)		
人口総数	605,640人(△177)	
男	281,072人(△76)	
女	324,568人(△101)	
世帯数	264,807世帯(△163)	



平成22年度
一般会計当初予算額は2197億4000万円
過去最高の積極型予算
雇用対策・地域経済の活性化に配慮【8・9面に予算特集】

平成二十二年度が始まりました。二十一世紀の扉とびらが開かれて十年目を迎えた今日、時代は大きな変革の中にあります。そのような中で来年三月には、いよいよ待望の九州新幹線が全線開業します。東北新幹線の全線開業とあわせて、鹿児島から青森まで高速鉄道で一つに結ばれ、本市がこれまでに経験したことのないダイナミックな交流が生まれ、拡大すると思えます。

そこで、こうした状況を踏まえ、本年度重点的に取り組む項目の一番目に、「新幹線・大交流時代」オリジナリティを生かした活力都市の創造」を掲げました。新幹線の終始発駅という利点を最大限に生かし、本市が有する雄大な自然や豊かな歴史、豊富な温泉や特色ある食文化などの資源や個性にさらに磨きをかけ、魅力と存在感を高めたいと思います。また、陸の玄関である鹿児島中央駅から海の玄関である鹿児島本港までの中心市街地の活性化も重要なテーマです。市民や観光客など多くの

新幹線・大交流 時代を前に



鹿児島市長
林 博幸

「人とみどりが輝くまち・かごしま」 の創造を目指して

方々が行き交いにぎわう回遊性のあるまちづくりを、官民一体となって進めたいと思っています。そして、国内外への積極的なプロモーション活動を展開して本市の魅力アピールし、ホスピタリティあふれる国際観光都市を目指します。

そのほか、「地球環境時代をリード」みどり輝く共生都市・「学ぶよろこび・育むぬくもり」心の豊かさ実感都市・「みんなの笑顔」を安心サポート「安全・快適都市の創造を重点項目として掲げています。これらの実現に向けて、市民との協働・連携のもと、市民目線に立った施策や事業を展開し、前例や固定観念にとらわれない、時代の変革に即応した自主自立の効率的な行政運営を推進してまいります。

依然として厳しい現下の経済・雇用情勢にも機動的に対応しながら、市民の笑顔が広がる「人とみどりが輝くまち・かごしま」を創造するために、引き続き市民の皆さんとともに、全力を傾注してまいりたいと決意を新たにしております。

(大切なものは保存しておきましょう)